

科目名 (英)	楽器演奏Ⅱ	選択 必修	必修	年次	2	担当教員	松原 匠
	Instrumental TechniqueⅢ	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
学科・コース	商業音楽科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。 〈講師プロフィール〉 Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクトWMOでの活動など、多岐に渡り活動中。 【到達目標】 ・弾き語り及びピアノ曲（両手奏含む）を学ぶことによってコード進行、編曲、和声、ジャンル等の理解力を高め、音楽の表現力を向上させる。 ・移調を理論的に理解し、鍵盤上でもできるようにし、自分の声に合わせてKeyを設定、移調できるようにし、自分の音楽活動に役立てるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	1年時の復習と確認（特に5度圏と調合について）移調の理論的説明と実習
2回目	自分で弾き語りの曲を選択する。伴奏形、アレンジ等を分析出来る
3回目	week2で選択した曲の弾き込みと歌唱、楽曲表現について「曲にする」ということを習得
4回目	スタンダードジャズの曲を各自のレベルに合わせて片手、両手演奏、CDに合わせる
5回目	CDに合わせて弾くことでテンポ感とリズム感の違い メロディーフェイクT,S,Dの機能についてを習得
6回目	移調、弾き語り曲、Piano曲の復習と確認
7回目	中間テスト 自分の弱点を認識、強化する
8回目	読譜力を身につける為、正確さを基準に演奏力を向上させる。テンションコードについて説明出来る
9回目	CDに合わせて演奏することでアンサンブル力を養い、ハーモニー感を習得する
10回目	代理コード、コード進行、テンションコード、近親調について習得
11回目	自分の声に合わせてKeyを選択し、移調してコード付一段譜で弾き語りをする
12回目	移調、アンサンブル、弾き語りスタイルを習得する。
13回目	期末テスト 弾き語り（自選曲）Pianosolo,移調問題
14回目	卒業進級制作 リハーサル
15回目	卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習
評価方法	実技テスト（Piano演奏力と理解度）
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 譜面	

科目名 (英)	楽器演奏Ⅲ	選択 必修	必修	年次	2	担当教員	松原 匠
	Insturmental Technique IV	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
学科・コース	商業音楽科					曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。 〈講師プロフィール〉 Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクトWMOでの活動など、多岐に渡り活動中。 【到達目標】 音楽表現、演奏に必要な理論、Piano テクニックを習得する							

授業計画・内容	
1回目	歌詞の内容を理解し、表現に結びつけるようにする為の練習、弾き語りのスタイルを習得
2回目	ブルースの特徴を習得。メロディー、バックিং等の特徴をCDに合わせてつかむ
3回目	移調の理解度を認識する。コードの機能、Tensionについて習得
4回目	弾き語り（自選）曲の自分のスタイルを決めて弾き込む。ブルースのフィーリングをつかむ
5回目	音程を確実にする。DESCANTを習得する。「きよしこの夜」「諸人こぞりて」
6回目	ブルース曲48小節をマスターする。暗譜の必要性和仕方についてのプリント（自作）配布
7回目	8-16小節の曲を作曲する・モチーフの発展のさせ方、テーマの設定について習得
8回目	中間テスト（弾き語り、solo曲の完成度についてチェックする）
9回目	アヴェイラブルノートスケールについて、近親調、転調について説明出来る
10回目	チャーチモードの全調での移調について、モード移調の音程について説明出来る
11回目	弾き語り曲（自選）Pianosolo曲、自作曲の完成を目指し弾き込む
12回目	期末テスト（弾き語り曲、自作曲、Pianosolo、理論「移調」）
13回目	卒業進級制作 リハーサル
14回目	卒業進級制作 リハーサル
15回目	卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習
評価方法	実技テスト（Piano演奏力と理解度）
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 譜面	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	PA実習	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤 潤
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	前期
コース	PAエンジニアコース					曜日・時限	火曜日4限～6限

【授業の学習内容】							
演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約15年間、オペレーターとして従事する。							
【到達目標】							
①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、演習に必要な道具の説明、学校機材の説明
2回目	ケーブルの巻き方、スタンドの立て方、マイクの付け方を覚える
3回目	安全管理(機材の運び方、皮手の必要性)の説明、機材の型番を覚える
4回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込み、音出しを説明、演習で行う
5回目	スタンドスピーカー、アナログミキサー、マイク1本の基本セットの仕込みを復習
6回目	基本セットの仕込みにCDプレイヤー、GEQを入れての演習を行う
7回目	コネクタの種類、ケーブルの種類の説明を行う
8回目	電気知識、テスターの使用法を演習で行う
9回目	マイクの音の違いを聴き比べ理解する
10回目	スピーカーの音の違いを聞き比べ理解する
11回目	ミキサーの機能を説明する(Aux、EQ、Group、Soloなど)
12回目	試験(簡易セットの仕込み、チェック)
13回目	Alphaの組み方、音の出し方を覚える
14回目	NX242などを使用し、プロセッサについて説明をする
15回目	前期授業内容の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	①試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	PA実習	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤 潤
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	後期
コース	PAエンジニアコース					曜日・時限	火曜日4限～6限
【授業の学習内容】 演習を通し、PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。 マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出し、チェックまでを反復して習得する。 実習の際毎回違う機材を使用して学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ※デルタ音響株式会社を経て、現株式会社アズオン（音響会社）にて約15年間、オペレーターとして従事する。							
【到達目標】 ①学校内機材の使用方法、機材名を把握する。 ②PA基本セット(スタンドスピーカー、16chアナログミキサー、GEQ、CDプレイヤー、マイク数本)を仕込み、音出し、チェックまでを全員ができるようになる。 ③ケーブルを早く巻けるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	イベント演習(ミュージカル)の反省、改善
2回目	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、DIについて説明する
3回目	モニタースピーカーについて説明し、演習を行う
4回目	メインスピーカー、モニタースピーカーを合わせて仕込み、レベルの取り方やチェックの仕方を演習で行う
5回目	ミキサー周り、アンプ周りの電源の取り方について説明する
6回目	回線表の見方、プランの立て方について説明する
7回目	CDプレイヤーの基本操作、現場にあったオペレートしやすい操作を説明する
8回目	スピーカーケーブル、NL4、NL8の配線、考え方を説明する
9回目	エフェクターの接続、使用方法を演習で行う
10回目	Comp、Gateなどインサート接続を説明し演習で行う
11回目	カラオケ音源でのオペレート演習
12回目	試験(モニタースピーカー、エフェクター、インサート接続など使用)
13回目	回線表、音響プランを制作
14回目	楽器知識を学ぶ、実際に楽器をセッティングして演習を行う
15回目	後期授業内容の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	①実技試験40% ②授業態度、取組姿勢30% ③出席率30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ステージライティング (Stage Lighting)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 正典
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	前期
コース	照明スタッフ					曜日・時限	木曜4-6限

【授業の学習内容】
 照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
 ※デライト株式会社（照明会社）所属。約35年照明担当として従事している。

【到達目標】
 照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	授業内容の説明、機材説明 舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクタの説明 巻き方 色について LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習 I 簡単な仕込み図の見方 書き方 調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成 調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備 役割分担
11回目	ホール演習準備 仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習 港文化小劇場 ホール説明 照明設備説明 前明かりのシュート
13回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ステージライティング (Stage Lighting)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	清水 正典
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	後期
コース	照明スタッフ					曜日・時限	木曜4-6限

【授業の学習内容】
 照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
 ※デライト株式会社（照明会社）所属。約35年照明担当として従事している。

【到達目標】
 照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習 瑞穂文化小劇場 劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習 振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音響概論	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	まつむろあきのり
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	前期
コース	PAエンジニア					曜日・時限	土曜4,5限

【授業の学習内容】 技術進歩の早い業界でもあるので、昨今の音響エンジニアとして知っておきたい基礎的な知識、理論、技術、心得から 実地で役立つTipsまで、実音だけでは得られない事を掘り下げ、幅広く習得してもらう。 ※ピーインググループ(現 株式会社 B ZONE)のスタジオである「STUDIO BIRDMAN」に就職。 レコーディング業務の他、ライブ・リハーサル・コンサート制作業務を通して多数の有名アーティストを担当。 現在はフリーランスとしてミュージシャンへのサポート業務のほか、楽器・音響機器製品開発などにも携わるなど、活動内容は多岐に渡る。							
【到達目標】 知識・理論・心得・Tipsなど、現場だけでは得られない事を掘り下げ、10年経っても必要な知識の習得。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、受講姿勢、自分の声を音として認識する、リファレンス曲に関する課題の説明、CDプレイヤー説明
2回目	課題発表のための準備と発表
3回目	簡単な電気知識とネットワーク知識①
4回目	簡単な電気知識とネットワーク知識②
5回目	簡単な電気知識とネットワーク知識③
6回目	ミキサ内部の音声信号処理 ①
7回目	アイドル現場リハ見学 or ミキサ内部の音声信号処理 ②
8回目	アイドル現場リハ見学 or ミキサ内部の音声信号処理 ③
9回目	デジタルミキサというもの
10回目	合同授業 or DSP処理 ①
11回目	合同授業 or DSP処理 ②
12回目	合同授業 or DSP処理 ③
13回目	スピーカ、パワーアンプの話
14回目	Dante関連
15回目	中間審査～答案回収～問題と解答の解説～前期反省会
準備学習 時間外学習	音楽の聴き方をPAのミキシングを意識しましょう。 ライブ会場では、音響周辺機器などにも注目しましょう。
評価方法	いかに熱心に取り組み、何事にも関心を持てたか、そして習得できたかを評価します。（５０％）またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。（５０％）
受講生への メッセージ	半年で、スタジオ内の作業ができるよう、基礎を叩き込んでください。誰の助けもなく、作りたいものを制作できるスキルと信用を得てください。
【使用教科書・教材・参考書】 PAデジタルミキサー・その他PA機材周辺機器 楽器関係 etc	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	音響概論	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	まつむろあきのり
学科	商業音楽科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90	開講区分	後期
コース	PAエンジニア					曜日・時限	土曜 4.5限

【授業の学習内容】 技術進歩の早い業界でもあるので、昨今の音響エンジニアとして知っておきたい基礎的な知識、理論、技術、心得から 実地で役立つTipsまで、実音だけでは得られない事を掘り下げ、幅広く習得してもらう。 ※ピーインググループ(現 株式会社 B ZONE)のスタジオである「STUDIO BIRDMAN」に就職。 レコーディング業務の他、ライブ・リハーサル・コンサート制作業務を通して多数の有名アーティストを担当。 現在はフリーランスとしてミュージシャンへのサポート業務のほか、楽器・音響機器製品開発などにも携わるなど、活動内容は多岐に渡る。							
【到達目標】 知識・理論・心得・Tipsなど、現場だけでは得られない事を掘り下げ、10年経っても必要な知識の習得。							

授業計画・内容	
1回目	各自目標設定をしチーム分けを行い課題を提示します
2回目	座学・dBの概念と簡単な計算、音響機材における様々な単位と計算
3回目	座学・国際単位系 (SI)、その他単位、音のスピードと特性、テンポ割出とディレイ計算、簡単な電気知識、VAWΩなど
4回目	学校説明会、実技講習
5回目	アイドル現場見学&実習
6回目	配信授業対策 DVS, Dante Controller, ProTools, 録音の重要性
7回目	配信授業実習
8回目	座学・回線表や仕込み図などの資料について簡単な説明。 VAWΩの続き。
9回目	LM楽器について
10回目	座学・ケーブルの種類、デジタルについて
11回目	座学・デジタル規格、インピダンス、RMS/PEAK①
12回目	座学・デジタル規格、インピダンス、RMS/PEAK②
13回目	座学・様々な同期、デジタル設定など①
14回目	座学・様々な同期、デジタル設定など②
15回目	期末試験・おさらい
準備学習 時間外学習	音楽の聴き方をPAのミキシングを意識しましょう。 ライブ会場では、音響周辺機器などにも注目しましょう。
評価方法	いかに熱心に取り組み、何事にも関心を持てたか、そして習得できたかを評価します。(50%) またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。(50%)
受講生への メッセージ	半年で、スタジオ内の作業ができるよう、基礎を叩き込んでください。誰の助けもなく、作りたいものを制作できるスキルと信用を得てください。
【使用教科書・教材・参考書】 PAデジタルミキサー・その他PA機材周辺機器 楽器関係 etc	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ (Ear training Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜または水曜3, 4限
【授業の学習内容】 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	①マイナースケールを感じて歌うことができる。
2回目	②マイナースケールを感じて歌うことができる。
3回目	①コードの聴き分けができる。
4回目	②コードの聴き分けができる。
5回目	①臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
6回目	②臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。
7回目	中間テスト対策
8回目	中間テスト
9回目	①タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
10回目	②タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。
11回目	①Fclefの音を聴き記譜できる。
12回目	②Fclefの音を聴き記譜できる。
13回目	③Fclefの音を聴き記譜できる。
14回目	期末テスト対策
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad or PC、授業プリント	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ (Ear training Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社 国際エジュケーションズ
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜または水曜3, 4限
【授業の学習内容】 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続ける音楽家たちが担当							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	前期復習
2回目	①リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
3回目	②リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
4回目	③リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
5回目	④リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。
6回目	中間テスト対策
7回目	中間テスト
8回目	①2声のメロディーを聴き分けることができる。
9回目	②2声のメロディーを聴き分けることができる。
10回目	③2声のメロディーを聴き分けることができる。
11回目	④2声のメロディーを聴き分けることができる。
12回目	テスト対策後期分
13回目	テスト対策(まとめ)
14回目	テスト
15回目	テスト返却 復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad or PC、授業プリント	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージックⅡ (computer Music)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大河内 俊宏
学科	商業音楽	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	マネージャー・コンサート企画制作					曜日・時限	土曜・1.2限
【授業の学習内容】							
映像制作ソフトiMovieを使用して動画制作の基本操作を習得する。							
【到達目標】							
タイトル、動画間の切り替え、BGMの挿入を習得し、オリジナルの動画を制作できるようにする。							

授業計画・内容			
1回目	iMovieの概要　どのような事が出来るかを知る		
2回目	iMovieの基本操作を習得　その1　映像のカット編集を習得する		
3回目	iMovieの基本操作を習得　その2　カラコレ・カラグレを習得する		
4回目	iMovieの基本操作を習得　その3　タイトルの制作を習得する		
5回目	iMovieの基本操作を習得　その4　BGMの挿入を習得する		
6回目	ショートムービーを制作する　制作1　テーマ別　15秒編集		
7回目	ショートムービーを制作する　制作2　テーマ別　15秒編集		
8回目	ショートムービーを制作する　制作3　テーマ別　15秒編集		
9回目	ショートムービーを制作する　制作4　テーマ別　15秒編集		
10回目	プレゼンテーション		
11回目	オリジナル動画を制作する　制作1		
12回目	オリジナル動画を制作する　制作2		
13回目	オリジナル動画を制作する　制作3		
14回目	オリジナル動画を制作する　制作4		
15回目	プレゼンテーション		
準備学習 時間外学習	授業外にて素材となる映像を撮影してくる。 フリー素材となる音源を探してくる。		
評価方法	1．定期試験（％） 2．小テスト（％） 3．レポート（％） 4．課題成果（％） 5．実地試験（％）	評価方法はG P A制度となります 1 0 0 ～ 9 0 点　S 8 9 ～ 8 0 点　A 7 9 ～ 7 0 点　B 6 9 ～ 6 0 点　C 5 9 点以下　F 不合格	
受講生への メッセージ	現在、エンターメント業界では動画は必須のツールです。しかし動画を闇雲に作っても伝えたいことが伝わらないかもしれません。 そのためにiMovieの基本操作を習得し、あなたの思いが伝わる動画を作りましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
筆記用具、USBメモリーもしくはハードディスクなどの記録媒体（動画は容量が大きくなるので容量の大きい媒体が望ましい）、イヤホンまたはヘッドホン			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージックⅡ (computer Music)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大河内 俊宏
学科	商業音楽	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	マネージャー／コンサート企画制作					曜日・時限	土曜・3.4限

【授業の学習内容】
映像制作ソフトAdobe Premiere Pro、Adobe After Effectsを使用して動画制作の基本操作を習得する。
【到達目標】
動画編集に必要なエフェクトやカラーグレーディング、モーショングラフィックスを習得しオリジナルの動画を制作できるようにする。

授業計画・内容			
1回目	Premiere Pro① 映像編集の概要、編集基礎、カラー補正を習得する		
2回目	Premiere Pro② 速度調整、画面構成を習得する		
3回目	Premiere Pro③ エフェクトコントロールを習得する		
4回目	Premiere Pro④ エフェクトの機能を習得する		
5回目	Premiere Pro⑤ MVPR動画 15秒ムービー制作 ※タイトル、テロップ、エフェクトを効果的に活用する		
6回目	Premiere Pro⑥ MVPR動画 15秒ムービー制作		
7回目	Premiere Pro⑦ 商品PR動画 15秒オリジナルムービー制作 完成、講評、プレゼン、データ提出		
8回目	After Effects① 基本操作を習得する		
9回目	After Effects② 回転、音楽に合わせてオブジェクトを揺らす、音楽の波形を動かすことを習得する		
10回目	After Effects③ タイトルアニメーション、リピータ演出、図形の組み合わせによるアニメーションを習得する		
11回目	After Effects④ 立体物によるライト、カメラレイヤーを理解し3D映像を習得する		
12回目	自己PR動画制作 15秒（OP動画5秒含む）テロップ入れ ※必ずPremiere Pro+After Effects両方使用する		
13回目	自己PR動画制作		
14回目	自己PR動画制作		
15回目	自己PR動画制作 完成、講評、プレゼン、データ提出		
準備学習 時間外学習	CMなど15秒～30秒尺の映像の構成を研究しておく。 絵コンテを作成しておく。		
評価方法	1．定期試験（％） 2．小テスト（％） 3．レポート（％） 4．課題成果（％） 5．実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	現在、エンターメント業界では動画は必須のツールです。しかし動画を闇雲に作っても伝えたいことが伝わらないかもしれません。 そのためにPremiere Proの基本操作を習得し、あなたの思いが伝わるより良い動画を作りましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
筆記用具、USBメモリーもしくはハードディスクなどの記録媒体（動画は容量が大きくなるので容量の大きい媒体が望ましい）、イヤホンまたはヘッドホン			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー I (business mannerI)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社NDP
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	マネージャー					曜日・時限	月曜・1 限目
【授業の学習内容】							
実務の現場で役に立つ芸能プロダクションのマネージャーとして活動するために、基本的な知識や各業界との関連性を知ることを通して、業界の業務を俯瞰的に知ることができるようになる。 また実習では、芸能タレントが活動する現場を見学してマネージャーの立ち居振る舞いを知る。							
【到達目標】							
実戦的な講義・演習を通して、芸能プロダクションの業務の全容を知ることができ、社会に出た後には、即戦力として”稼げるマネージャー”として活躍することができるような心構えを持つようになる。							
①芸能プロダクションの各市場について							
②芸能プロダクションの4種類の業務について							
授業計画・内容							
1回目	ガイダンスの実施、アンケートの収集、自己紹介						
2回目	芸能タレントの定義を知る／新ユニットデビューの検討①総論						
3回目	芸能タレントと芸能プロダクションの関係性を知る／新ユニットデビューの検討②類似ユニットの比較						
4回目	芸能プロダクションの種類／新ユニットデビューの検討③／類似ユニットの評価						
5回目	タレントが働く市場①総論／新ユニットデビューの検討④自社ユニットのコンセプト検討①						
6回目	タレントが働く市場②ステージ市場／新ユニットデビューの検討⑤自社ユニットのコンセプト検討②						
7回目	タレントが働く市場③放送市場1／新ユニットデビューの検討⑥自社ユニットのコンセプト検討③						
8回目	タレントが働く市場④放送市場2／新ユニットデビューの検討⑦ユニットメンバーの評価①						
9回目	タレントが働く市場⑤音楽市場／新ユニットデビューの検討⑧ユニットメンバーの評価②						
10回目	タレントが働く市場⑥映画市場／新ユニットデビューの検討⑨ユニットメンバーの評価③						
11回目	タレントが働く市場⑦広告市場／前期講義のまとめ						
12回目	演習①芸能プロダクション現場見学（音楽イベント）						
13回目	演習②芸能プロダクション現場見学（ステージイベント）						
14回目	演習③芸能プロダクション現場見学（路上イベント）						
15回目	演習④芸能プロダクション現場見学（その他イベント）						
準備学習 時間外学習	講義の後半に行う『新ユニット』デビューのために、比較のための予備調査などを準備学習として行う。 演習では事前知識なしで参加することがないように、インターネットなどで予備調査を行う。						
評価方法	1. 講義への参加意識（50%） 2. 課題成果（30%） 5. 実習参加（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生への メッセージ	本講義では、基本的な知識のほかに実際の芸能の現場で起こっていることを解説していくことで、業界全体を立体的に 掴むことを目的としています。 テレビを通しては決して知ることのできない生の現場の話を皆さんと共有したいと思います。						
【使用教科書・教材・参考書】							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー I (business mannerI)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	株式会社NDP
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	マネージャー					曜日・時限	月曜・1 限目
【授業の学習内容】							
実務の現場で役に立つ芸能プロダクションのマネージャーとして活動するために、基本的な知識や各業界との関連性を知ることを通して、業界の業務を俯瞰的に知ることができるようになる。							
また実習では、芸能タレントが活動する現場を見学してマネージャーの立ち居振る舞いを知る。							
【到達目標】							
実戦的な講義・演習を通して、芸能プロダクションの業務の全容を知ることができ、社会に出た後には、即戦力として”稼げるマネージャー”として活躍することができるような心構えを持つようになる。							
①芸能プロダクションの各市場について							
②芸能プロダクションの4種類の業務について							
授業計画・内容							
1回目	前期講義のまとめ／後期講義のガイダンス						
2回目	芸能プロダクションの業務①育成／ユニットデビューまでのステップ①						
3回目	芸能プロダクションの業務②プロデュース／ユニットデビューまでのステップ②						
4回目	芸能プロダクションの業務③マネジメント／ユニットデビューまでのステップ③						
5回目	芸能プロダクションの業務④ファンの管理／ユニットデビューまでのステップ④						
6回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー①						
7回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー②						
8回目	ケーススタディ①アイドルユニットのデビュー③						
9回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー①						
10回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー②						
11回目	ケーススタディ②アクションユニットのデビュー③／年間講義のまとめ						
12回目	演習①芸能プロダクション現場見学（音楽イベント）						
13回目	演習②芸能プロダクション現場見学（ステージイベント）						
14回目	演習③芸能プロダクション現場見学（路上イベント）						
15回目	演習③芸能プロダクション現場見学（その他イベント）						
準備学習 時間外学習	講義の後半に行う『新ユニット』デビューのために、比較のための予備調査などを準備学習として行う。 演習では事前知識なしで参加することがないように、インターネットなどで予備調査を行う。						
評価方法	1. 講義への参加意識（50%） 2. 課題成果（30%） 5. 実習参加（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	本講義では、基本的な知識のほかに実際の芸能の現場で起こっていることを解説していくことで、業界全体を立体的に 掴むことを目的としています。 テレビを通しては決して知ることのできない生の現場の話を皆さんと共有したいと思います。						
【使用教科書・教材・参考書】							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅰ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池淵雄也
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	火曜日2限
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※コンサートプロモーターの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション(受講学生の自己紹介/授業の説明・進め方/成績評価/etc...)		
2回目	コンサートプロモーター(イベンター)・コンサート制作とは/コンサートの全体像・仕組み/etc...		
3回目	コンサート運営①(入退場口～もぎり/配布物/関係者受付/etc...)		
4回目	レコード会社のプロモーター基本編　アーティスト資料について学ぶ		
5回目	コンサート運営②(警備/パスコントロール)/プロモーション資料制作		
6回目	コンサート運営③(列整理/雑踏誘導/表示物)/プロモーション資料制作		
7回目	コンサート運営④(機材・ステージ・客席の設営/撤去)/プロモーション資料制作		
8回目	コンサート運営⑤(楽屋/ケータリング)/プロモーション資料制作		
9回目	コンサート運営⑥(物販/クローク)/プレゼンテーションA-①		
10回目	考える力・考える癖をつける基本　自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
11回目	市場調査　タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
12回目	コンサート運営⑦(行程/宿泊)/プレゼンテーションA-②		
13回目	コンサート運営⑨(マニュアル・各種資料作成)/プレゼンテーションA-④		
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習	コンサート現場・またはその他自身で訪れたコンサート現場にて人員配置の視察。 サイン関係のデザインも確認。 アーティストの演出も意識する。		
評価方法	授業態度（10%） レポート（10%） 実地試験（80%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F 不合格	
受講生への メッセージ	みなさんが数々のコンサートやライブに興味として行っている裏側では、多大な努力の結晶としていろいろな業種が関わっています。いろいろな仕事を知り、視野を広げて世界を知ってください。 よろしく願いいたします。		
【使用教科書・教材・参考書】			
PC(エクセル・PowerPoint)			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅰ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池淵雄也
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	火曜日2限
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※コンサートプロモーターの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	コンサート制作①会場予約・ブッキング・収支予算 東京のライブ制作会社・プロモーターの流れ		
2回目	コンサート制作② 情報解禁・プロモーション プレスリリース・プロモーション手段紹介・プロモーション原稿作り		
3回目	コンサート制作③プレゼンテーションB-①チケット販売・発券・各種プレイガイドと配券		
4回目	コンサート制作③大規模公演の当日発券システムについて・プレゼンテーション発表		
5回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 発表		
6回目	グループディスカッション 「グループに分かれてアーティスト企画書作る」 発表		
7回目	コンサート制作④プレゼンテーションB-②(手配書)・小規模～大規模公演の手配書・課題:食数表の作成		
8回目	コンサート制作⑤プレゼンテーションB-③(行程表)・行程表の重要性・課題:行程表の作成		
9回目	コンサート制作⑥プレゼンテーションB-④(図面・地図作成)・行程表の復習		
10回目	コンサート制作⑥座席図面の作成・プレゼンテーション発表		
11回目	コンサート制作番外編①・各年代を代表するアーティスト・楽曲		
12回目	コンサート制作番外編②・海外のアーティストを知ろう		
13回目	コンサート制作⑦(禁止行為解除申請)・様々な特殊効果・禁止行為解除申請の作成		
14回目	コンサート制作⑨(アンサーシート・etc)・アンサーシートの項目・音資料・セット図・回線表・拡張子について		
15回目	後期試験		
準備学習 時間外学習	コンサート現場・またはその他自身で訪れたコンサート現場にて人員配置の視察。 サイン関係のデザインも確認。 アーティストの演出も意識する。		
評価方法	授業態度 (10%) レポート (10%) 実地試験 (80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	みなさんが数々のコンサートやライブに興味として行っている裏側では、多大な努力の結晶としていろいろな業種が関わっています。いろいろな仕事を知り、視野を広げて世界を知ってください。 よろしくお願いいたします。		
【使用教科書・教材・参考書】			
PC(エクセル・PowerPoint)			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制作Ⅱ (Video planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴川貴久
学科	商業音楽科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	金曜 4限

【授業の学習内容】 映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアル画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。 ※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。
【到達目標】 様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】ベジェ曲線① ベジェ曲線から構成されるロゴマーク・キャラクターなどの制作からあらゆるカタチを自由に描くテクニックを演習する。
2回目	【Illustrator】ベジェ曲線② アンカーポイントとハンドルから導き出す直線美・曲線美についての特徴と問題点、解決策他を実制作から習得する。
3回目	【Illustrator】ベジェ曲線③ ベジェ曲線で表現される図形・アウトライン文字・線など合体・切り抜きなどの効果の組合せから様々な表現技法を演習する。
4回目	【Illustrator&Photoshop】カラー設定 減法混色・加法混色・特色についてどのような特徴と問題点があるのかを実例を基に習得する。
5回目	【Illustrator&Photoshop】トリムマーク 様々な媒体で必要不可欠となるトリムマークの意味と正しいデータの制作方法を様々な媒体データを基にして演習する。
6回目	【Photoshop】画像処理① 色調補正・画像修正について様々な表現方法を演習する。
7回目	【Photoshop】画像処理② 画像の切り抜きについて様々な表現方法を演習する。
8回目	【Photoshop】画像処理③ 画像の切り抜きのテクニックと特徴と問題点や解決策など様々な媒体を基に習得する。
9回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作① 1回目～8回目までの理解度を確認しイメージの具現化と段取りがスムーズに出来ているかなどをポイントとして演習します。
10回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作② イメージを具現化するための素材・効果など、基礎・応用・表現テクニックを考え演習します。
11回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作③ レイアウトのポイント、余白のバランスなどを意識した表現方法を演習する。
12回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作④ ブラッシュアップの重要性和印刷入稿データについて習得する。
13回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作① ベジェ曲線と文字の組合せから、用途に合わせたマップ制作の技法を習得する
14回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作② 情報の優劣を整理し用途に合わせた表示のカタチやテクニックを実習する。
15回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作③ &評価 線の結び目、交差点、情報、など案内図としての様々な表現方法を様々な媒体を基にして演習し習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%+授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%+技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制作Ⅱ (Video planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴川貴久
学科	商業音楽科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	金曜 4限
【授業の学習内容】 映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアル画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。 ※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。							
【到達目標】 様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。							

授業計画・内容	
1回目	【Illustrator】オペレーション確認。前期で学んだ基本的動作（トリムマーク・書式・ベジェ曲線・様々なデータ書き出しなど）をポイントに演習します。
2回目	【Photoshop】オペレーション確認 一年生時に学んだ基本的動作（色調補正・効果・切り抜き・合成など）をポイントに演習します。
3回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作① アーティスト名を題材にオリジナルのロゴを複数案考え制作します。ロゴマークの演習から様々な考え方を習得します。
4回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作② ロゴマークの使用シーンを考えモノクロ・カラー・特色でのデータの作り方を演習します。
5回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開① 制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
6回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開② 制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
7回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開③ 画面の中のサイズ感ではなく、実サイズでのサイズ感を原寸出力から感覚を持ち、ギャップがどの位感じられるかを演習から習得します。
8回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開④ ブラッシュアップと様々な媒体への入稿データなどを演習からポイントを習得します。
9回目	人物撮影&物撮りについてのポイントを様々な実例から構図を習得する。
10回目	紙媒体・ソーシャルメディア媒体でのレイアウトの考え方を習得する。
11回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作① B5×12ページ オールカラー 中綴じ製本。各ページの構成要素をどの様に制作するか様々なアーティストからポイントを習得します。
12回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作② 各ページの構成要素を決め、必要素材、情報等を考えスケジュールを計画し演習します。
13回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作③ 制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
14回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作④ 制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
15回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作⑤ イメージの具現化出来るかをポイントとして実習します。制作の具現化においてアナログ要素・デジタル要素の表現についても演習から表現の違いを習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%+授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%+技術評価40%とする。 なお、本授業においての技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜、水曜5,6限
【授業の学習内容】 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。 実務者経験：英語教授関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。							
【到達目標】 ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。 ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。 ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。							
授業計画・内容							
1回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ						
2回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ						
3回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる						
4回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる						
5回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。						
6回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。						
7回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ						
8回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ						
9回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ						
10回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ						
11回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる						
12回目	L7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる						
13回目	総復習						
14回目	学期末試験						
15回目	試験返却、解説						
準備学習 時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。						
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。						
【使用教科書・教材・参考書】 「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜5.6限
【授業の学習内容】							
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。 実務者経験：英語教授関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。							
【到達目標】							
- 海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。 - 相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。 - 学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。							
授業計画・内容							
1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる						
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる						
3回目	L.19&20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる						
4回目	L.19&20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる						
5回目	L.21&23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ						
6回目	L.21&23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ						
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。						
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。						
9回目	L.29&30 過去の出来事について述べられるようになる						
10回目	L.29&30 過去の出来事について述べられるようになる						
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる						
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる						
13回目	総復習						
14回目	学期末試験						
15回目	試験返却、解説						
準備学習 時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。						
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	番組企画制作Ⅱ (Program planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横井 雅之
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	マネージャー					曜日・時限	木曜4. 5限
【授業の学習内容】 プレゼンテーションを見据えた企画立案と企画書作成の実施。タイアップ企画のプレゼンテーションプレゼンテーションのツール制作などを行う。※。東京/名古屋/神奈川を中心とした、音楽ライブイベント「MOHANAK（モハナック）」代表。ロッキングオン主催フードフェス「まんばく」設営/管理ディレクター、「SUMMER SONIC 2016」へマネージメントアーティストの輩出の他、学園祭やMV撮影、音響機材レンタル事業、野外イベントの企画制作、音楽事業全般を展開している。							
【到達目標】 マネージメントとしてコンサート・ライブ・イベントの企画書作成とプレゼンテーションが実施できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	前期授業のオリエンテーション。
2回目	音楽業界～メディア（ラジオ、テレビ番組など）とイベントの関係性について学ぶ。
3回目	音楽業界～イベンター（プロモーター）とアーティストマネージメントの関係性について学ぶ。
4回目	番組制作における、企画書の基本概念について学ぶ。
5回目	イベント・ライブ実施に必要な企画書の作成について学ぶ。
6回目	イベント・ライブ実施に必要な企画書の作成。マーケティング（会場の選定など）を学ぶ。
7回目	番組制作に必要な、予算、スポンサー、プロモーションについて学ぶ。
8回目	プロモーションとプロモーションの必要性について学ぶ。
9回目	プロモーションにおける、マスメディアの活用と、種類について学ぶ。
10回目	アーティストとタイアップの関係について学ぶ。
11回目	効果的なプレゼンテーションについて学ぶ。
12回目	プレゼンテーションに必要なツール制作について学ぶ
13回目	プレゼンテーションに必要なツール制作について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括。後期授業の説明
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 課題提出（50%）
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	番組企画制作Ⅱ (Program planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横井 雅之
学科	商業音楽科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	マネージャー					曜日・時限	木曜 4.5限
【授業の学習内容】 プレゼンテーションを見据えた企画立案と企画書作成の実施。タイアップ企画のプレゼンテーションプレゼンテーションのツール制作などを行う。※。東京/名古屋/神奈川を中心とした、音楽ライブイベント「MOHANAK（モハナック）」代表。ロッキングオン主催フードフェス「まんぱく」設営/管理ディレクター、「SUMMER SONIC 2016」へマネージメントアーティストの輩出の他、学園祭やMV撮影、音響機材レンタル事業、野外イベントの企画制作、音楽事業全般を展開している。							
【到達目標】 マネージメントとしてコンサート・ライブ・イベントの企画書作成とプレゼンテーションが実施できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	前期振り返り
2回目	マーケティングとプロモーションについて学ぶ
3回目	プロモーションにおける、タイアップについて学ぶ
4回目	番組制作とスポンサーについて学ぶ。
5回目	番組企画に必要なマーケティングについて学ぶ。
6回目	企画書に必要な概念。6W2Hについて学ぶ。
7回目	プレゼンテーションに必要な概念を学ぶ。
8回目	プレゼンテーションをロールプレイングで体験する。
9回目	プレゼンテーションにむけた企画書の書き方の説明
10回目	タイアップを前提とした企画書の作成。企画立案と企画書作成
11回目	タイアップを前提とした企画書の作成。企画立案と企画書作成
12回目	各自課題に沿ってプレゼンテーションを行う。
13回目	各自課題に沿ってプレゼンテーションを行う。
14回目	試験
15回目	総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 課題提出 (50%)
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	商業音楽科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle (ミュージックビジネス専攻) 卒業。CD店舗マネージャー、ライブブックイング、アーティストマネジメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。

授業計画・内容			
1回目	音楽業界の構造・応用編		
2回目	音楽産業の構造・応用編		
3回目	①著作権の必須知識		
4回目	②著作権の必須知識		
5回目	使える著作権		
6回目	①ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用		
7回目	②ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用		
8回目	③ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用		
9回目	①音楽における著作権侵害とは？ 実例／具体例／判例など		
10回目	②音楽における著作権侵害とは？ 実例／具体例／判例など		
11回目	③音楽における著作権侵害とは？ 実例／具体例／判例など		
12回目	④音楽における著作権侵害とは？ 実例／具体例／判例など		
13回目	①インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情		
14回目	②インターナショナルな音楽活動／世界の音楽ビジネス事情		
15回目	まとめ／復習／課題への取り組み		
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習		
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？ どのような利益をもたらすのか？ を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。		
【使用教科書・教材・参考書】			
使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition （安藤 和宏） 参考書：18歳の著作権入門 （福井 健策）			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林達也
学科	商業音楽科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15	開講区分	後期
コース	コンサート企画制作					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】 刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle (ミュージックビジネス専攻) 卒業。CD店舗マネージャー、ライブブックイング、アーティストマネジメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師							
【到達目標】 音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。							

授業計画・内容			
1回目	①音楽ビジネスにおける各種契約		
2回目	②音楽ビジネスにおける各種契約		
3回目	③音楽ビジネスにおける各種契約		
4回目	①音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷		
5回目	②音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷		
6回目	③音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷		
7回目	①変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点		
8回目	②変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点		
9回目	③変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点		
10回目	①現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル		
11回目	②現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル		
12回目	③現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル		
13回目	①音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編		
14回目	②音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編		
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み		
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習		
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。		
【使用教科書・教材・参考書】			
使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition （安藤 和宏） 参考書：18歳の著作権入門 （福井 健策）			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	選択	年次	2	担当教員
学科	商業音楽科	授業 形態	座学	総時間	60	開講区分
コース	コンサート企画制作・マネージャー			(単位)		曜日・時限

業の学習内: (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に
ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

音楽・舞台業界の仕事に携わる上で、マネージャーとしてだけでなく、運営・制作の知識も
幅広く活躍できる人材になる。

授業計画・内容			
1回目	自己紹介・音楽業界用語について		
2回目	ライブハウス基礎知識 ホール代・楽器知識		
3回目	舞台基礎知識 図面の見方		
4回目	運営マニュアルについて I		
5回目	運営マニュアルについて・各資料の見方II		
6回目	タイムスケジュールについて		
7回目	楽器知識 I		
8回目	楽器知識II		
9回目	各スタッフの仕事について		
10回目	制作スケジュールの作成について		
11回目	進行台本の作成について		
12回目	自主企画イベントを想定 チーム作り・プレスト I		
13回目	自主企画イベントを想定 資料作成 II		
14回目	自主企画イベントを想定 資料作成III		
15回目	自主企画イベントを想定 発表・質疑応答IV		
13回目	自主企画イベントを想定 発表・質疑応答 V		
14回目	テスト		
15回目	テスト返却・振り返り		
準備学習 時間外学習	1. 定期試験 (%) 評価方法はGPA制度となります		
評価方法	2. 小テスト (%)	100～90点 S	
	3. レポート (%)	89～80点 A	
	4. 課題成果 (%)	79～70点 B	
		69～60点 C	
受講生への メッセージ	5. 実地試験 (%)	59点以下 F不合格	
【参考書・教材・参考書】			
iPad/PC			

シラバス

石川利江子

前期

金曜日3~4限

に記載する)

に習得し

[illegible]

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2026年度

科目名 (英)	進級制作	必修 選択	選択	年次	2	担当教員
学科	商業音楽科	授業 形態	座学	総時間	60	開講区分
コース	コンサート企画制作・マネージャー			(単位)		曜日・時限

【授業の学習内容】	(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。 音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。
-----------	--

【到達目標】	Hospital Of Miracleを通じて、ミュージカル公演の運営・制作知識を深めるとともに人間性
--------	--

授業計画・内容			
1回目	自己紹介・入学式振り返り		
2回目	役割分担・プロモーションとは		
3回目	決起集会/プロモーション&動員計画と対象		
4回目	プロモーション 進捗報告会・制作スケジュール作成		
5回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告		
6回目	学園祭合同MT /HOM プロモーション進捗報告・電話掛け・チラシ発送物準		
7回目	HOM プロモーション進捗報告・電話掛け・チラシ発送		
8回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
9回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
10回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
11回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
12回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
13回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
14回目	セクション別の仕事/ステージ・（進行.楽器.舞台.字幕）フロント（本部.受付.楽屋		
15回目	全体 /運営マニュアルに基づき最終確認		
13回目	本番		
14回目	本番振り返り /テスト		
15回目	テスト返却・振り返り		
準備学習 時間外学習			
評価方法	2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%)	100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C	
受講生への メッセージ			
参考書・教材・参考書】	iPad/PC		

シラバス

石川利江子

後期

金曜日・3～4限

に記載する)

を養う

備

.) 作業 I

.) 作業 II

.) 作業III

.) 作業IV

.) 作業 V

.) 作業VI

.) 作業VII